

一般社団法人
九州地域中小企業等支援専門家連絡協議会
(略称:九州志士の会)

※経営革新等支援機関に認定されました！
熊本支部が初の県支部として2013年6月発足！

九州志士の会事務局

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9-15-10F
一般社団法人 福岡県中小企業診断士協会内
TEL 092-624-0606 FAX 092-624-9678
E-mail sindan.f@gmail.com URL <http://shishi-no-kai.jp>

九州志士の会・熊本支部

〒860-0863 熊本市中央区坪井6丁目38-15 建峰ビル
オフィスチェイカス内 九州志士の会・熊本支部
TEL 096-345- FAX 096-345-5828
E-mail URL <http://shishi-no-kai.jp>

設立趣旨 : 新たな切り口からの支援機関づくり

- 九州志士の会は、高く・熱い志を持つ **士業・専門家集団**で、中小企業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、「時代の変化への対応」を望む企業に対して、士業連携を含めた **新たな切り口からの支援機関づくり**を目指します。
- 国・県・市をはじめ中小企業支援機関等との連携を強化することで、九州の中小企業や、地域の幅広い課題解決に取り組み、 **元気な九州づくり**を目指します。

九州志士の会 概要 ⇒ 設立2年目で、活動創造中！

正式名称 一般社団法人 九州地域中小企業等支援専門家連絡協議会

沿革

【平成23年】

4月 九州志士の会設立総会(4月4日)

5月 一般社団法人化

中小企業支援ネットワーク強化学業のネットワーク構成機関として登録

7月 中小企業経営者への経営相談会を実施

10月 九州北部信金協会と合同で相談会を実施

【平成24年】

6月 日本政策金融公庫 九州内全支店と中小企業支援で提携

4省庁政策勉強会(九州経産局、九州地方整備局、九州農政局、福岡労働局)

7月 「九州志士の会」商標登録

9月 日本政策金融公庫との連携セミナー&相談会

11月～ BIZCOLI&九州志士の会・タイアップセミナー(継続中)

12月 経営革新等支援機関の認定申請 ⇒平成25年2月1日付で認定

その他、研修や講演、個別の中小企業支援などを多数実施

ぐんと底上げ、

九州力。

九州の中小企業を支える専門家集団

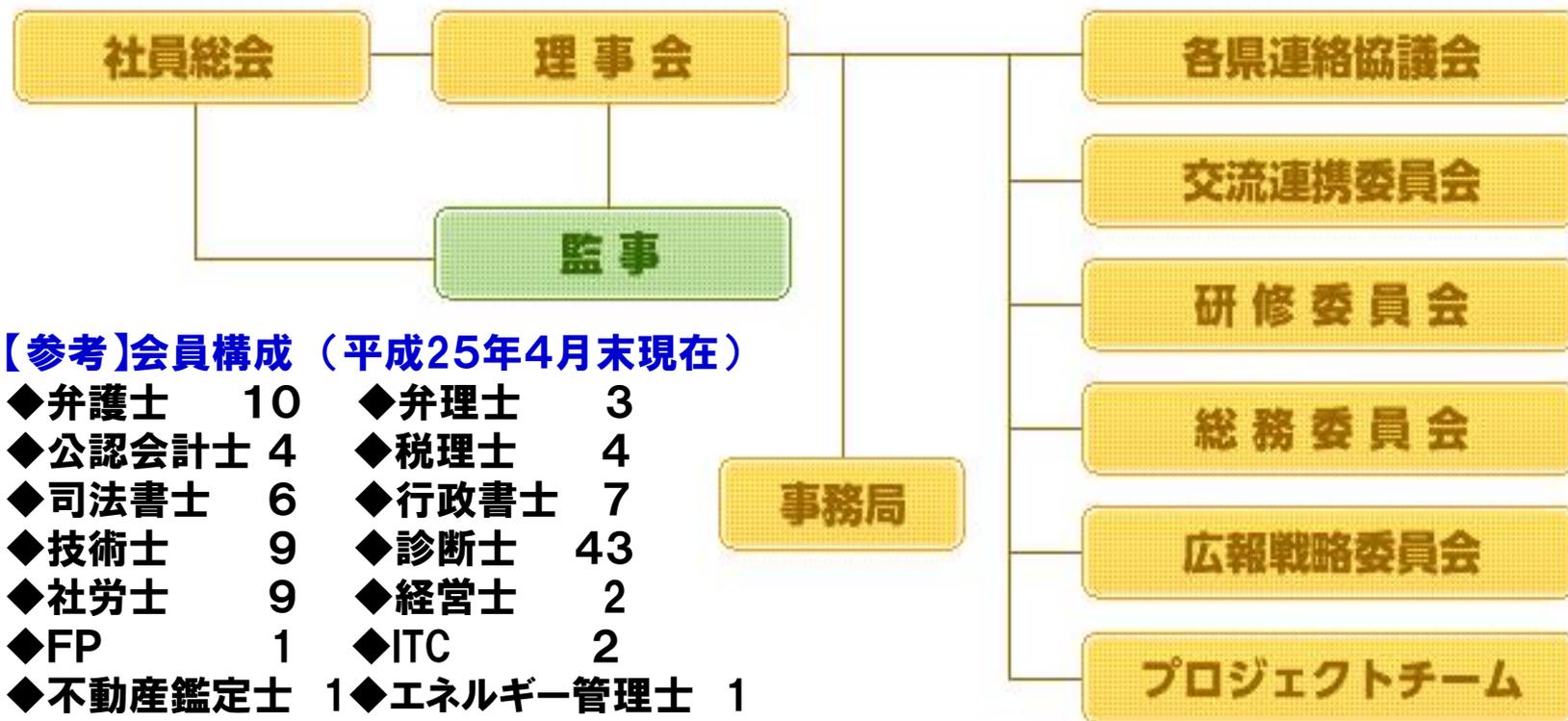
九州 志士の会

九州志士の会 組織図

中小企業診断士、弁護士、弁理士、公認会計士、税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、技術士、経営士、不動産鑑定士やコンサルタント、エキスパートから構成。

会員数は九州各県に計113名（平成25年4月初現在）

毎月開催される理事会で意思決定、その後、各委員会で詳細を協議した上で研修や交流会、広報活動などを実施する。



【参考】会員構成（平成25年4月末現在）

◆弁護士	10	◆弁理士	3
◆公認会計士	4	◆税理士	4
◆司法書士	6	◆行政書士	7
◆技術士	9	◆診断士	43
◆社労士	9	◆経営士	2
◆FP	1	◆ITC	2
◆不動産鑑定士	1	◆エネルギー管理士	1
◆民間スペシャリスト	12		



会長 : 榎本健二(中小企業診断士)
各種士業113名集団(H25. 4現在)



← 新たな写真撮影が必要

中小診断士・弁護士・行政書士…

「士業」団体と連携

日本政策金融公庫と、九州で営業している中小企業診断士や弁護士、行政書士など「士業」がつくる九州地域中小企業等支援専門家連絡協議会(九州志士の会)は4日、中小企業の経営改善策で連携する覚書を交わした。経営相談会を共催するほか、日本公庫の九州の店舗と志士の会の会員が中小企業の情報を共有し、融資先の経営再建や新規融資の開拓につなげる。

日本公庫が複数の士業

日本公庫、融資先の支援強化

にまたがる団体と連携するのは初めてという。今後は日本公庫の九州の17支店で月1回程度、志士の会の会員による経営相談会を開く予定。日本公庫の融資先に対し、志士の会に所属する診断士らを派遣することも検討する。

日本公庫福岡支店の菅平衡平支店長は4日、福岡市内で記者会見し、「(貸し出しから経営改善まで)ワンストップで提供できることで顧客の利便性は高まる」と述べた。

九州志士の会・熊本支部が発足！(16名)

- 平成25年6月 日
- * 弁護士 : 三藤省三
 - * 弁理士 : 吉永純一
 - * 税理士 : 坂田義照(交流連携L)
 - * 技術士 : 森津一、吉田紘彬
 - * 社会保険労務士 : 平木邦昭、並川恭子
 - * 司法書士 : 井上勉
 - * 環境カウンセラー : 千葉透
 - * ITエキスパート : 諫山徹也(副支部長)
 - * 中小企業診断士 : 江藤洋(副支部長)
 奈須悦雄(副支部長)、坂本純夫(研修L)
 中村靖生(広報戦略L)、本郷誠(総務L)
 横山耕二(支部長)
 - ※事務局 : 千葉透、平木邦昭、並川恭子

多様な経験を持つ専門家集団①

中小企業の立場を理解した、**さまざまな分野での豊かな経験を有する志の高い専門家**で構成しています

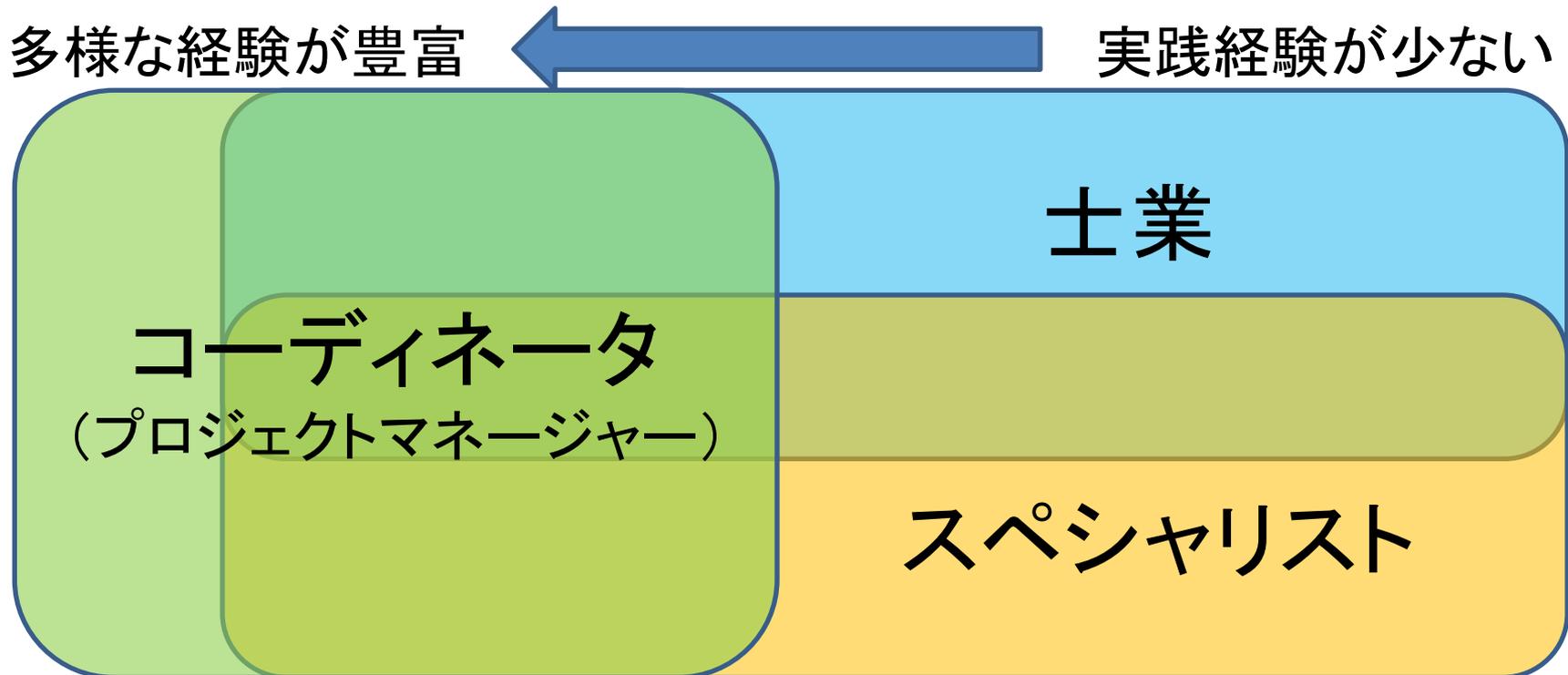
① **多様な企業支援を経験** : 新連携、地域資源、農商工連携(6次産業化)、事業承継、事業再生、経営革新、創業支援、上場支援など(プロジェクトマネージャー、専門家)

② **モノづくり(開発～生産技術)等の実践経験** : 士業としての専門性以外に、企業勤務経験を通しての多様な技術・経験・知識も有効活用(添付スキル表参照)

③ **各自各様の専門家ネットワークを保有** : ◆弁護士
◆弁理士 ◆公認会計士 ◆税理士 ◆司法書士
◆技術士 ◆中小企業診断士 ◆社会保険労務士
◆経営士 ◆FP ◆ITC ◆民間スペシャリストなど

多様な経験を持つ専門家集団②

士業・専門家間のコミュニケーションを活性化することで、「相互研鑽の場づくり」を行い、「コーディネーターの相互育成」や、「ユーザーオリエンテッドな士業連携」を行う集団を目指します



九州志士の会・熊本の活動コンセプト

起業・企業の育成支援

<活動の方向>

士業・業際を越えた顧客志向の企業育成支援

- * 会員の「相互研鑽の場づくり」推進(相互研鑽)
- * 次世代経営者・後継者・起業家の育成支援(人)
- * 経営革新支援、起業育成支援(企業)
- * 次世代専門家・起業家育成の場づくり(場)
- * 行政と企業との知的インターフェースを果たす(社会貢献)

<活動事業>

1. 会員が交流を深め顧客サービスを相互活用(相互研鑽)
2. 企業家・起業家向けの研修事業(人)
3. 企業・起業の育成支援事業(企業)
4. 創業活性化の場づくり事業(場)
5. 行政施策の普及浸透と施策提言など(社会貢献)

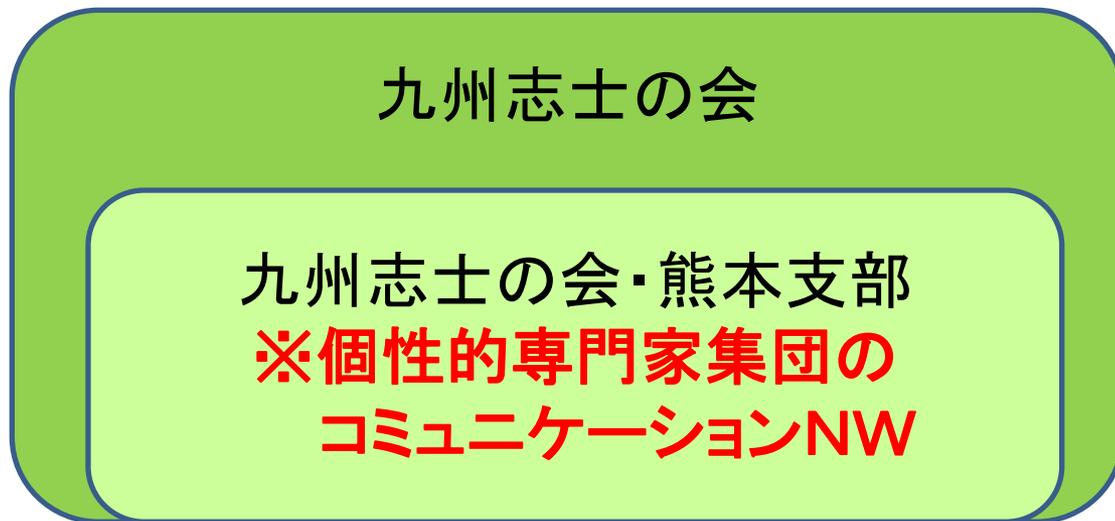
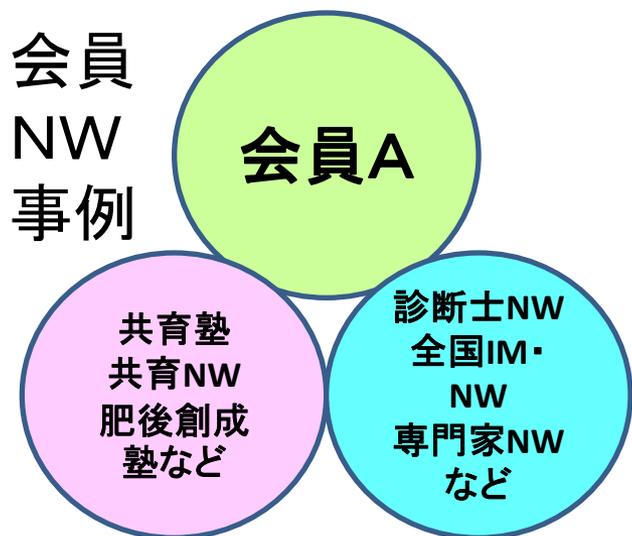
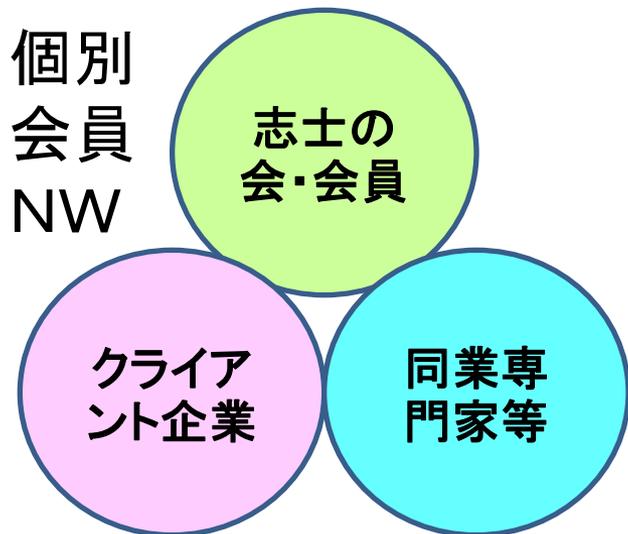
1. 会員の「相互研鑽の場づくり」推進

会員が交流を深め顧客サービスを相互活用：
会員の「顧問先や支援企業へのサービス」として、**行政施策を活用した専門家派遣や補助金、診断指導等の企業育成支援**を推進し、士業・業際を越えた情報の相互活用を行うことで、会員同士の相互研鑽の場づくりを推進する。



参考：九州志士の会・熊本支部の本質的特性

会員の独自活動では困難な多様な企業育成支援を、仲間会員との連携で実現！



- * 行政の専門家派遣事業の活用による
会員クライアント育成支援の強化
⇒ 会員顧客サービス強化、会員収入増
- * 士業・業際を越えた連携企画による
ユーザーオリエンテッドな企画セミナー
⇒ 新規顧客開拓、行政セミナーの受託
- * 国・県・市町村の各種事業の受託活動
⇒ 九州志士の会会員のステイタス向上

2. 企業家・起業家向けの研修事業

個別対応セミナー（7～12名）：経営セミナーと個別支援を組合わせた**シリーズ対話型セミナー**を行います（**共育塾、肥後創成塾で効果確認**）

集合研修セミナー（30～50名）：知識習得中心のセミナーは**集合研修方式**で行います

少数精鋭・シリーズ対話型セミナー

＝集合セミナー ＋ グループ討議・演習 ＋ 個別相談



参考事例 : 坂田式経営サポートサービス

「坂田塾」+「将軍の日」+「MAS監査」=「坂田式 経営サポートサービス」

坂田塾 : 経営・会計の基礎 研修(シリーズ・セミナー)



第1回 4月2日(火)

「社長の行動が未来を変える」

第2回 5月9日(木)

「経営戦略はこう立てる」

第3回 6月6日(木)

「BSC経営入門の入門」

第4回 9月5日(木)

「社長の夢をかなえる経営計画」

第5回 10月3日(木)

「PDCAによる業績管理手法」

第6回 12月5日(木)

「経営者のための会計力」

将軍の日 : 中期5カ年事業計画策定セミナー

日頃の忙しさ・煩雑さから離れ、来客も電話もない静かな環境の中に身を置き、**じっくりと企業理念やビジョンを考える1日**です。現状分析と5年後のビジョンに基づく5カ年数値計画書を作成する事により、会社の将来像(事業領域や事業規模)が定まります。また自社分析を行うことで、自社のセールスポイント・ウィークポイントを明確に把握できます。

MAS監査 : 月一のマネジメントサポート

経営者の意思決定を支援するための提案型・未来会計指向型の業務サービスです。

経営計画策定を中心とした監査業務を行い、**PDCA経営サイクルの確立**による「先見経営・先行管理の実現」と「目標達成ができる経営体質の強化」をサポートいたします。

- * 単年度計画立案
- * 経営計画発表会
- * 予実管理
- * 先行管理

参考事例 : 少数精鋭「共育塾」(若手経営者塾)

「相互研鑽の場」+「常時交流の場」+「外部刺激の場」+「訪問実感の場」=「共育システム」



＜キックオフミーティング＞



＜定期塾(月1回)＞



＜ゲストとの会食懇談＞

- * 元三井物産・星崎支社長
- * 重光産業・重光社長
- * 平田機工・平田会長
- * 電通大・竹内特任教授

＜メーリングリストの運用＞

⇒そして修了式！
「相互研鑽の場」の確立



＜支援機関訪問＞

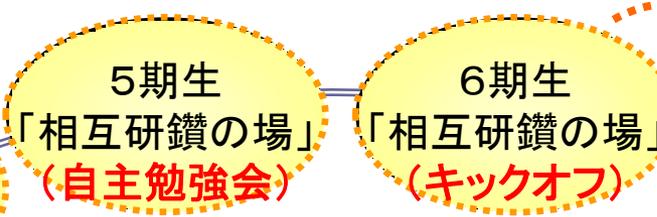
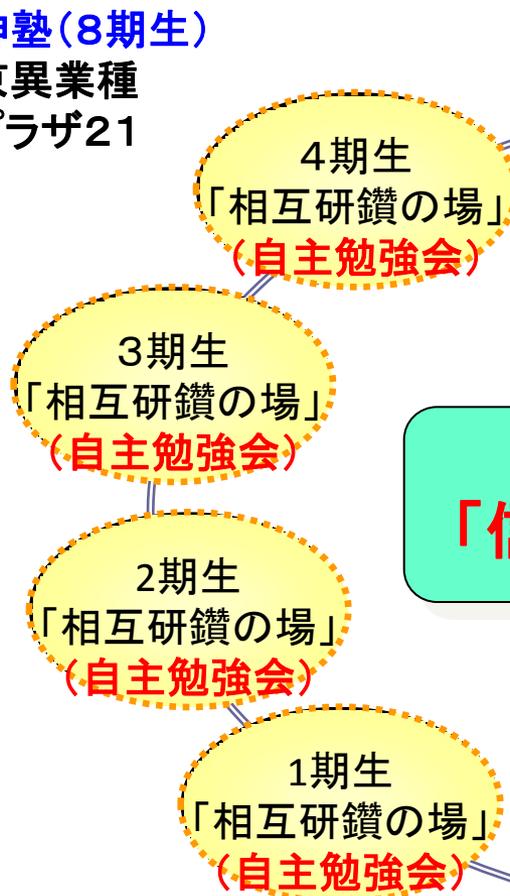


＜企業相互訪問＞

「相互研鑽の場」 共育ネットワーク

<福岡・東京ネットワーク>

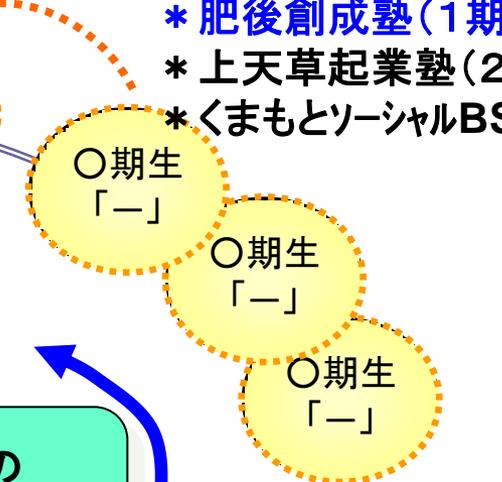
- * 天神塾(8期生)
- * 東京異業種交流プラザ21



「相互研鑽の場」は確立済み
塾生のメンター人材組入れ

<熊本ネットワーク>

- * 肥後創成塾(1期)
- * 上天草起業塾(2期)
- * くまもとソーシャルBSネット



1年をかけて

金銭至上主義から脱却し、未来志向の
「信頼と絆と縁」のネットワーク

共育ネットワーク事務局

共に教え・学び合い、
社会に貢献できる人に育ち、
面白い豊かなネットワークを築く

- メーリングリストの運営
- ホームページの運営
- 交流、体験、勉強による「相互研鑽の場づくり」



<専門家集団>
専門的課題の解決
士業／エキスパート

- ・九州志士の会
- ・NPO地域診断士研究会
- ・診断士協会、新現役の会

<全国メンター集団>
共育塾のゲスト
講演会、企業連携
(地場企業の育成支援)

多様なネットワーク集団化
共育ネットワークは、
(現在、三十二社四十人)

農林漁業 : 蘭の栽培、果実観光農園、真珠の養殖・牡蠣の養殖
4社 有機農業・食育→有機農業生産物の発掘・普及浸透

製造業 : 電子部品の製造販売、環境製品の製造販売
7社 弁当製造販売、削り節製造販売、精麦製品製造販売
創作アイスの製販⇒6次産業化、清酒・焼酎の製販

建設業 : 土木工事・ITシステム開発、土木関連・キクラゲ
3社 建築設計施工・建造物の調査診断、

卸販売業 : 食品の卸販売、自動車解体リサイクル
4社 農産物の卸販売、漁具の販売・帆の製造販売

サービス業 : 自動車整備・食品小売、健康・生活支援、老人ホーム
6社 保険等の購買代理、NPO子育てサロン等、多店舗飲食業

IT関連 : HP制作・ゲームアプリ、医療システム支援
4社 ブライダルグッズ通販、ITプロモーション・特許技術実用化支援、

医療関連 : 眼科病院・診療所、遠隔画像診断、介護福祉支援
4社 病院人材派遣・医療器具販売



共育塾5期生
キックオフミーティング

※赤文字⇒熊本県起業化支援センター出資企業

3. 企業・起業の育成支援事業①

* 支援に際しては課題の指摘に留まらず、**具体的な課題を企業と共に解決する**（**経営者主導で行うことが大切だと考える**）

* 「九州志士の会」の会員・100名余との域外連携を活用し、**エリアを超えた企業展開支援を行う**（例えば、**県域を越えた事業進出や企業連携などを行う**）

①経営革新・起業育成支援 : **コーディネーター**を基軸に**継続的支援**を推進し、必要に応じた**タイミングで専門家の投入支援**を行う

②課題解決支援 : 適切な**専門家派遣**を行う
（活用専門家は、熊本支部会員⇒会員のネットワーク人材⇒志士の会本部会員の順で選定）

3. 企業・起業の育成支援事業②

③起業家育成支援(公的資金) : バーチャル・インキュベータを立上げ、**インキュベーション・マネージャー**を基軸に**継続的支援**を推進し、必要に応じたタイミングで**専門家の投入支援**を行う

④若手専門家養成(公的資金) : 若手専門家の活動の場が少なく、「熊本若志士の会」を起こして、起業家支援や専門家補助としての経験を積ませ、地力のある専門家の養成を行う

⑤起業家・企業家と後継者不在企業とのマッチング(公的資金) : 「**マッチングの場**」をつくることで、後継者不在問題の解決につなげる

「ビジネス支援の場」の概要イメージ

「ビジネス交流の場」+「ビジネス相談の場」+「相互研鑽の場」

活動コンセプト:

起業・起業の育成支援

- * 若手経営者・次世代経営者の育成支援(人)
- * 経営革新支援創業育成支援(法人)
- * 次世代専門家・起業家育成の場づくり

ビジネス相談の場

＜企業育成事業＞

- * 総合的継続的支援
- * 課題解決支援
- * 起業家育成支援
- * 若手専門家養成(若志士の会など)
- * 事業承継企業対応(起業家・企業家とのマッチング)

＜ビジネス交流の場＞

ビジネスサロンでの各種交流会

＜ビジネス相談の場＞

ビジネス支援図書館とリンクした経営相談

＜相互研鑽の場＞

少数精鋭方式によるやる気のある人材育成

ビジネス交流の場

第1段階:バーチャルの場

⇒ウェブ活用

- * 関連ネットワーク間の交流
- * 支援企業の発掘

第2段階:リアルな場

⇒公的資金活用

- * マッチングの場

相互研鑽の場

＜研修事業＞

- * 対話型経営者塾
- * 対話型シリーズセミナー
- * 多様な切り口からの経営者セミナー

※事例研究と行政活用を学び視野を広げ、「気付き」による意識改革を自らが行う。

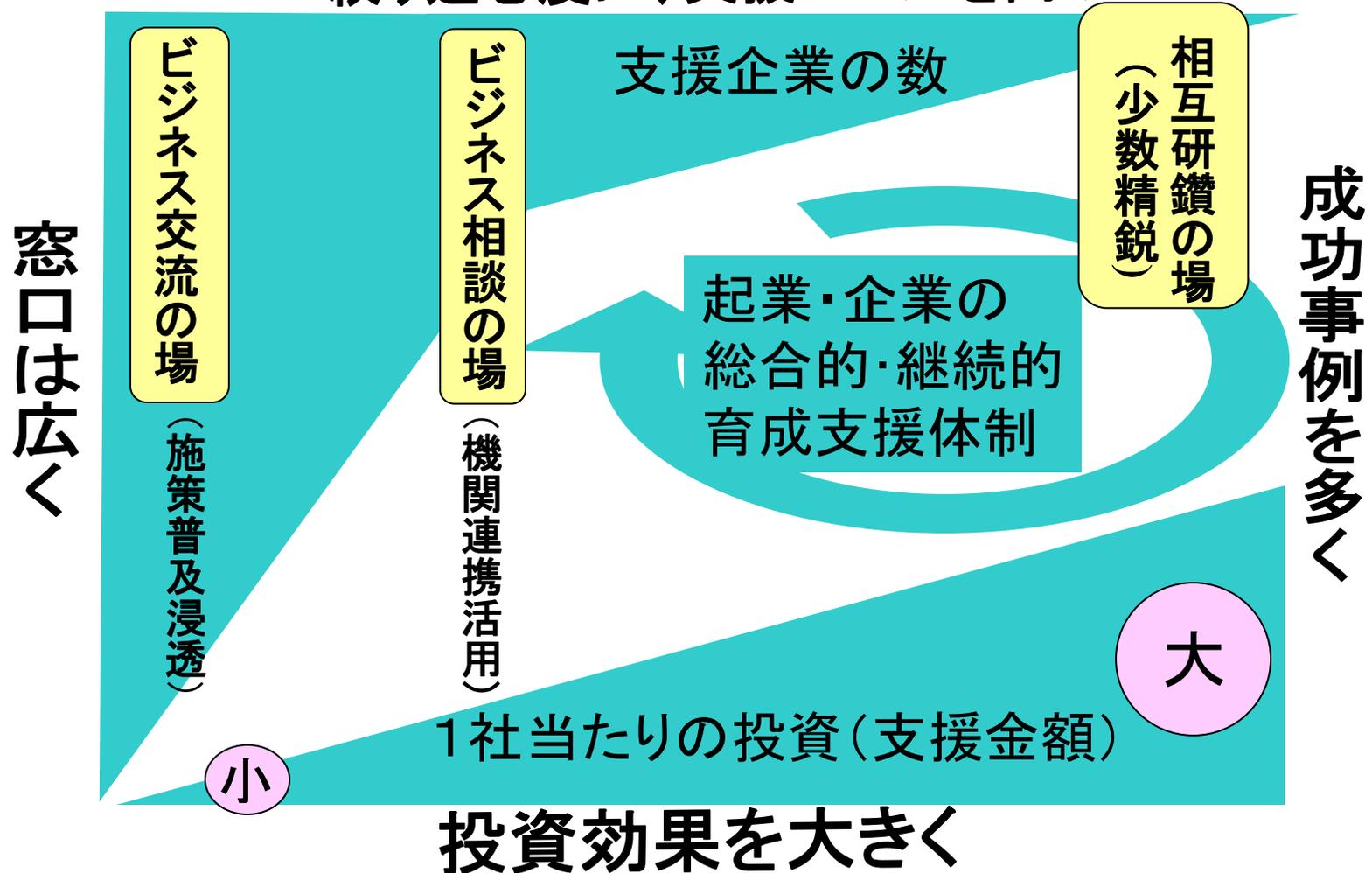
※人脈の拡大と、異業種ネットワークづくりを行い、自社の改善・活性化につなげる。

※発言力、自己アピール力、プレゼンテーション力の向上を自らが実践・体得する。

イメージ事例 : 「ビジネス支援の場」のしくみ

企業発掘の要諦は、多数参加による競争原理の導入

絞り込む度に、支援レベルを高く



4. 創業活性化の場づくり事業

* **創業が活発な社会は活性化社会**（**創業が不活発な社会は停滞社会**） ⇒自らチャレンジする人材が増えるように社会インフラの整備が必要（起業家は金がなく、行政資金投入で実現を）

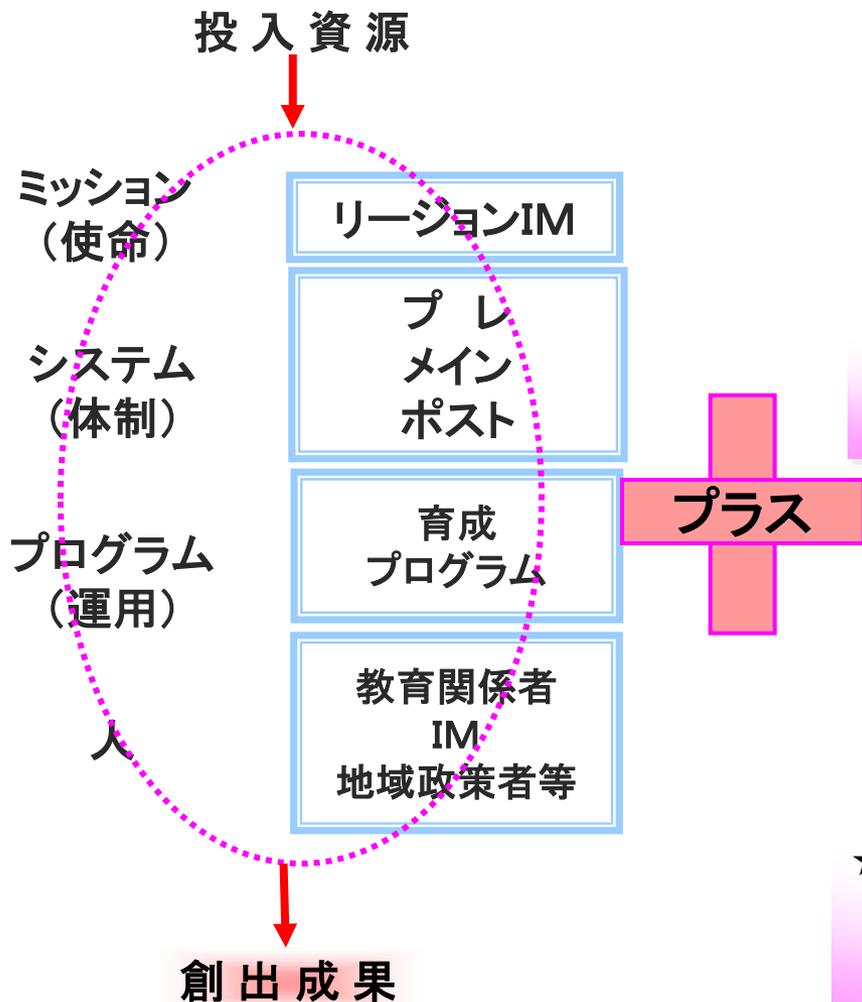
①自立人材育成 : 小学5年生は10年後に社会人 ⇒小学5年生（遊び）、中学2年生（地域社会学習）、高校2年生（企業連携学習）の時に、年齢に応じた**ベンチャーキッズスクール**を経験

②情報収集拠点づくり : 自己責任の時代に情報収集できる場がないでは自己責任は取れない ⇒図書館は各種情報（図書・WEB・DB情報）の宝庫であり、**ビジネス支援図書館**を推進

参考事例：地域創業活性化のインフラ整備活動

長期的・継続的に好循環で機能する仕組みづくり ⇒ 未来の活性化社会づくり

【ビジネスインキュベーション・システム概念】



【長期的・継続的施策】

若年者の自立
人材育成機能

今の小学校6年生は
10年後の社会人！
脱・知識偏重教育

若年者のキャリア教育機関
(ベンチャーキッズスクールなど)

★実体験をベースに「自分で考え、行動し、
課題に直面した際に自分で判断する能力」
を養う(自己選択、自己決断、自己責任)

自己責任時代の
情報提供機能

自己責任を取るべく
判断するための情報が
得られない現実！

ハイブリッドライブラリー
(ビジネス支援図書館)

★公共図書館における多面的な情報提供機能を
充実し、行政情報から地域性の高い特徴
のある情報まで幅広い情報を生成・提供する
(自分で情報検索を活用できる能力も育成)

5. 行政と企業との知的インターフェース

多様な社会経験や企業支援経験を有する士業・専門家集団の役割として、地域の現場からの「**行政施策の普及・浸透と施策提言**」などを行う。

①行政施策の普及・浸透 : 省庁の枠を越えた新たな施策を含め、中小企業への**施策の普及・浸透**を推進していく。また新規事業・モデル事業や企業支援ニーズの把握を行い、企業や行政からの**多様な協力要請への対応**を行う。

②行政への施策提言 : 地域の企業育成支援を推進していく中で、施策への企業ニーズを把握・分析し、**省庁の枠を超えての施策提言**を行う。

参考事例 施策提言：次世代人材が育つ場づくりを！

- ① **次世代人材が育つ場**：起業家精神の原点にある「**ないものを創る能力**」を、**共育塾**を通して次世代若手経営者に引き継ぐ「場づくり」をしてきました。この考え方は、「**起業家育成塾**（肥後創成塾）」にも「**若者の目標設定セミナー**（KAプロジェクト）」にも応用がきくことを確認しており、普及拡大が望まれます。
- ② **士業連携の場**：士業・専門家は、大学教授と同様に一匹狼的な傾向が強く、連携下手です。士業間の**コミュニケーションの場**をつくることで、「**ユーザーオリエンテッドな経営者セミナー・企業育成支援**」が可能になります。そこで「**九州志士の会熊本支部**」を発足し、**士業連携の場**として動かし始めています。
- ③ **地域創業活性化のインフラ整備**：**創業が活発な社会は経済活性化社会です**。現行の創業支援施策は短期施策のみであり、**長期施策**が必要だと思います。具体的には、「**子供の自立化教育**（小中高の一環VKS）」と「**情報収取拠点づくり**（ビジネス支援図書館）」の活動を、地道に広げていくことが必要です。

九州志士の会熊本支部と金融機関・支援機関の連携概念(参考)



- 新規創業？
- 新規事業？
- 経営革新？
- 企業連携？
- 特許取得？



民間ネットワーク

- ・金融機関等
- ・各種企業等
- ・各種専門家



交流連携

公的ネットワーク

- ・国県市行政
- ・支援機関等
- ・高専大学等



交流連携
情報連携

交流連携
情報連携

九州志士の会・熊本支部

＜本部にリンクした認定支援機関活動＞
・産学官金と連携強化する認定支援機関活動

＜熊本支部の独自活動：県内連携活動＞

※士業・業際を越えた顧客志向の企業育成支援

- ・シリーズ対話型の経営者塾、経営セミナー
- ・企業育成支援：経営革新支援、創業支援
- ・民間支援機関づくりに繋がる各種活動

九州志士の会（平成25年4月 ⇒113名）

・事務局／委員会／メンバー（コーディネーター、専門家）

九州志士の会は
認定支援機関として
新たな切り口からの
企業支援機関づくりを
始めています